

2月4日（火）授業研究・研究協議会

1 はじめに

広島大学大学院教育学研究科 宮里 智恵 教授，広島県教育委員会 義務教育指導課 渡辺 剛指導主事，西部教育事務所 安達 裕指導主事をお迎えし，2年1組で道徳科の授業研究会を行いました。また，今回は，『道徳教育改善・充実』総合対策事業』推進校としての授業提案も兼ねており，海田町教育委員会の指導主事，海田町内小中学校の校長先生，多くの教職員の方々をお迎えしての授業研究・研究協議会でした。家庭や地域と一体となった体験活動との関連を図った「道徳学習プログラム」の工夫と，「児童の多面的・多発的な思考と価値観への気づきを促すための道徳科の発問の工夫」について協議する場となりました。お忙しい中，授業を提供していただいた中嶋先生，ありがとうございました。



2 研究授業

- (1) 道徳科 主題名：かけがえのない命【内容項目 D生命の尊さ】
教材名：「たんじょう日」（東京書籍）
- (2) 授業者 第2学年1組 担任 中嶋 奈保子 教諭
- (3) 本時のねらい

自分が誕生したときの話をとお母さんから聞いたなつこの心情を考えたり，保護者からの手紙を読んだりすることを通して，多くの人に支えられ，守られている自分の命を大切にしようとする心情を育む。

3 研究協議会

協議の柱1： 家庭や地域と一体となった体験活動との関連を図った「道徳学習プログラム」の工夫は，どうだったか。

協議の柱2： 児童の多面的・多角的な思考と価値観への気づきを促すための教師の発問の工夫はどうだったか。

(1) グループ協議会

上記の協議の柱をもとに，グループ協議で出された主な意見を紹介します。短時間でしたが，活発に意見が出されました。

- 生活科との関連が図られた道徳学習プログラムで，事前の学習が有効だった。こうした学習が，4年生での二分の一成人式につながり，6年間を通したプログラムに繋がっていると感じた。
- 先生の穏やかで落ち着いた口調が，しっとりと考えを深めることに繋がっている。保護者からの手紙は，配慮しなければいけないことがあり難しいが，保護者に目的が周知されており，自己肯定感が高まった。身近な人物である田島先生のお話も，児童の心に入っていきやすく有効だった。

- 手紙を読んだ後の感想をもっと交流させたり，他の人の命も大切だと気付かせるために，互いの手紙の内容を交流させたりすると良いのでは。
- 「お母さんのために命を大切にしたい。」との発言の後に「なんでお母さんのためなの？」など繰り返し発問をして，深めると良いのでは。
- 多くの人が自分の「命」に関わっていることを視覚的に捉えられるように，まん中に「命」を書き，矢印を付ける板書にすると良いのでは。
- 「命を大切にするってどういうこと？」という発問で，もっと児童なりの具体的な発言が引き出せると良かったのでは。



(2) 指導助言および指導講話

たくさんご指導いただいた中から，主なものを抜粋しております。

【西部教育事務所 安達 裕指導主事 指導助言】

- 「お誕生日おめでとう」と言うが「何でそうなの？」と問うことで，どうして命が大切なのか深まったのではないかと。発問の吟味をしていきたい。
- 身近な人の話，ここでは手紙やゲストティーチャーの話には力があり，自分事として捉えることが出来る。

【広島県教育委員会 義務教育指導課 渡辺 剛指導主事 指導助言】

- ねらいの焦点化がなされていた。
- 発問の質がよい。登場人物の気持ちを問うていても，自分の考えで答えさせるような発問で，文章に書いていないことを問うような発問だった。
- 手紙は非常に力がある教材となるので，そちらに流されてしまうことがあるので注意が必要。

【広島大学大学院教育学研究科 宮里 智恵 教授 指導講話】

- 教材が①教科書本文，②保護者の手紙，③ゲストティーチャーの話，④道徳学習プログラム，とたくさんあったが，オーバーフローしないよう気を付け，ゆったりとした授業だった。
- 本時のテーマは，「多くの人に支えられ，守られている命」である。お母さん以外の視点に目を向けさせ，自分を囲んでいる層が何層にもなっていることに気付かせるとよい。
- 「命を大切にす的心情」とはどういうことなのか。具体的に命を大切にすることを考えさせると良い。小さい子だからと考えず，聞いてみると，例えば「けがをしない。」「早寝早起きをする。」「きまりを守る。」など子どもなりの考えが出てきて，生き方のヒントが生まれてくる。

4 最後に

本授業研究の前に，第3回海田町道徳教育推進協議会が開かれ，海田町の小中学校の道徳科の推進状況を交流しました。本校は，道徳学習プログラムのブラッシュアップがなされ，また発問についての吟味が進みまし，カリキュラムボックスやノート，道徳コーナーなど，ハード面も整いつつあることについて報告させていただきました。先生方のご協力のおかげで，本年度研究の成果が実り，大きく前進したことを感じ，感謝しています。成果と課題を整理し，来年度の研究につないでいきたいと思ます。